

GAPG が「アルコールの有害な使用の低減；ビール・ワイン・スピリッツ生産者の誓約」を発表

2012年10月9日（火）午後3：30（日本時間同10日（水）午前4：30）、ワシントンDCで開催された、国際アルコール政策センター（ICAP）主催のカンファレンスに於いて、世界の大手酒造メーカーで組織するGAPG（Global Alcohol Producers Group）は、「アルコールの有害な使用の低減；ビール・ワイン・スピリッツ生産者の誓約—Reducing Harmful Use of Alcohol：Beer, Wine and Sprints Producer’s Commitment’」を発表しました。

この誓約は、GAPG が、WHO の「アルコールの有害な使用を低減するための世界戦略」実現に向け、酒類製造者として取っていく行動をまとめ、誓約したものです。